

リモート 8 K 編集システムの開発

リモート8K編集システムの開発目的

編集作業もテレワークできないか？

「働き方改革」の推進のもと、コンテンツ制作においても柔軟なワークフローの対応が求められている。

- リモートデスクトップ技術を用いて、編集室に設置してある編集機を遠隔で操作し、編集作業ができるリモート8K・4K編集環境の実現を目指す
- 編集者やディレクターが編集室に来なくても、リモート環境（在宅）で編集機が操作できる環境を開発する
- ネットワーク越しにどこからでも編集データを共有し、ストレスなく作業ができるリモート編集環境を開発する

リモートデスクトップとは

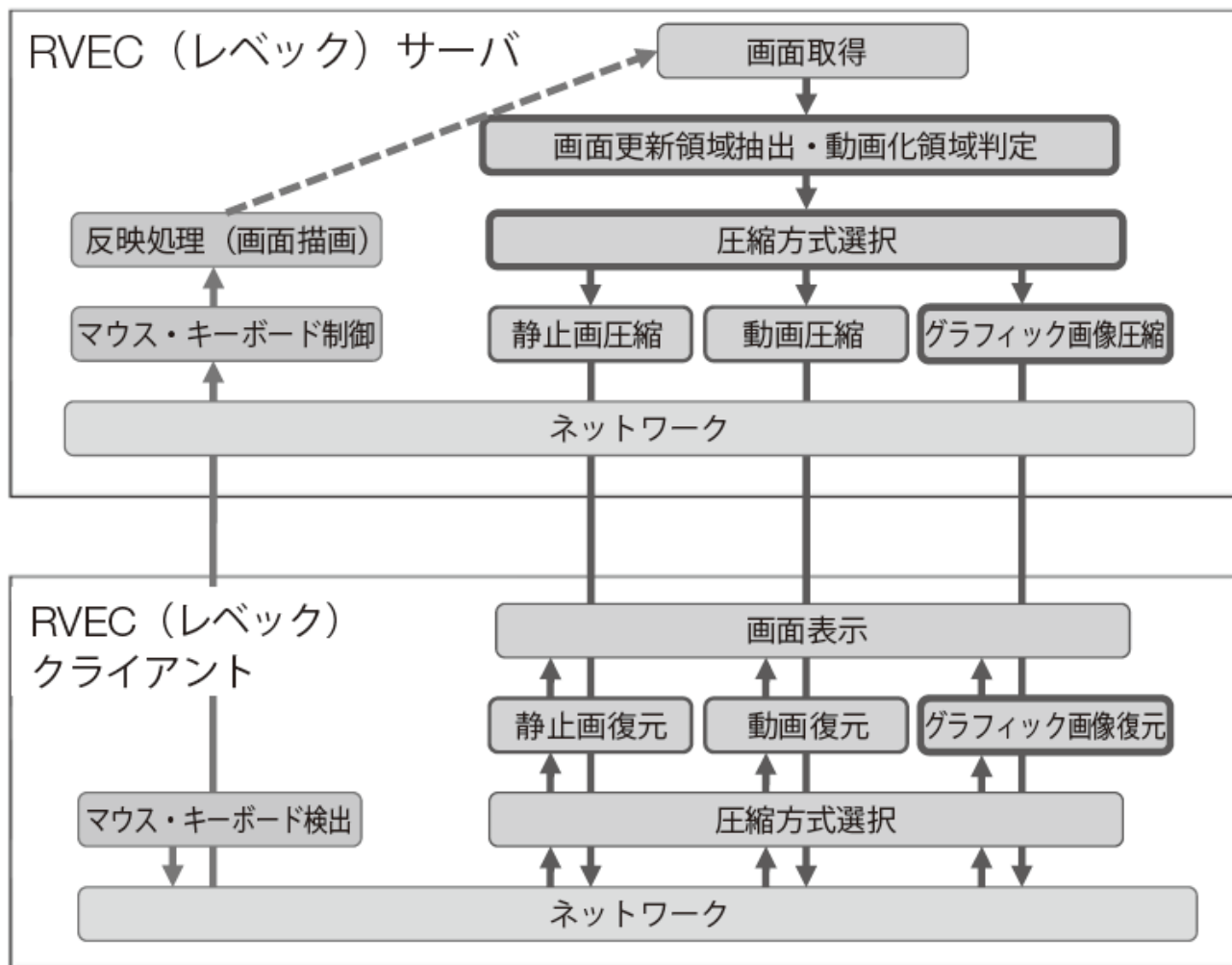


リモートデスクトップの課題

- ①操作レスポンスが遅い
- ②リモート画面の解像度低下
- ③再生フレームレートの低下



リモートデスクトップ°高速表示技術：RVEC



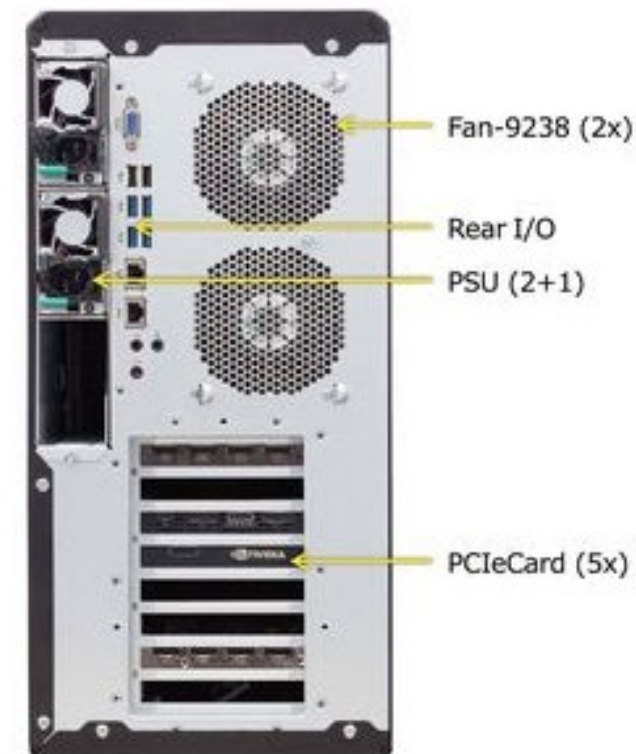
・富士通独自のコーデック搭載による高画質、高速表示

・静止画、動画、グラフィックを判断し効率良く圧縮伝送

・GPUの活用により、4K60フレームの伝送が可能

・複数拠点からの同時接続に対応（コラボレーション機能）

次世代ワークステーション 「Tamazone Workstation」



お問い合わせ先
開発企画部
03-3481-7845
contacts@nhk-tech.co.jp